

2050カーボンニュートラル実現に向けた トランジション戦略

大和電機株式会社（本社：鹿児島県霧島市国分下井、代表取締役：岩崎健太）は、GXリーグ参画企業として、2050年のカーボンニュートラル実現に向けたトランジション戦略を策定いたしました。2030年、2050年の環境目標達成と脱炭素社会の実現を目指し、5つの取り組み（運用見直し、電化、オフセット、省エネ、再エネ）で着実な低炭素化の「移行（トランジション）」を推進してまいります。

【GXリーグ】

GXリーグとは、2050年カーボンニュートラル実現と社会変革に取り組み、持続的な成長を目指す企業群が官・学とともに協働する場です。2022年に経済産業省が「GXリーグ基本構想」を発表したのち、2023年度より活動を開始しました。



GX League

Scope1・Scope2排出削減目標

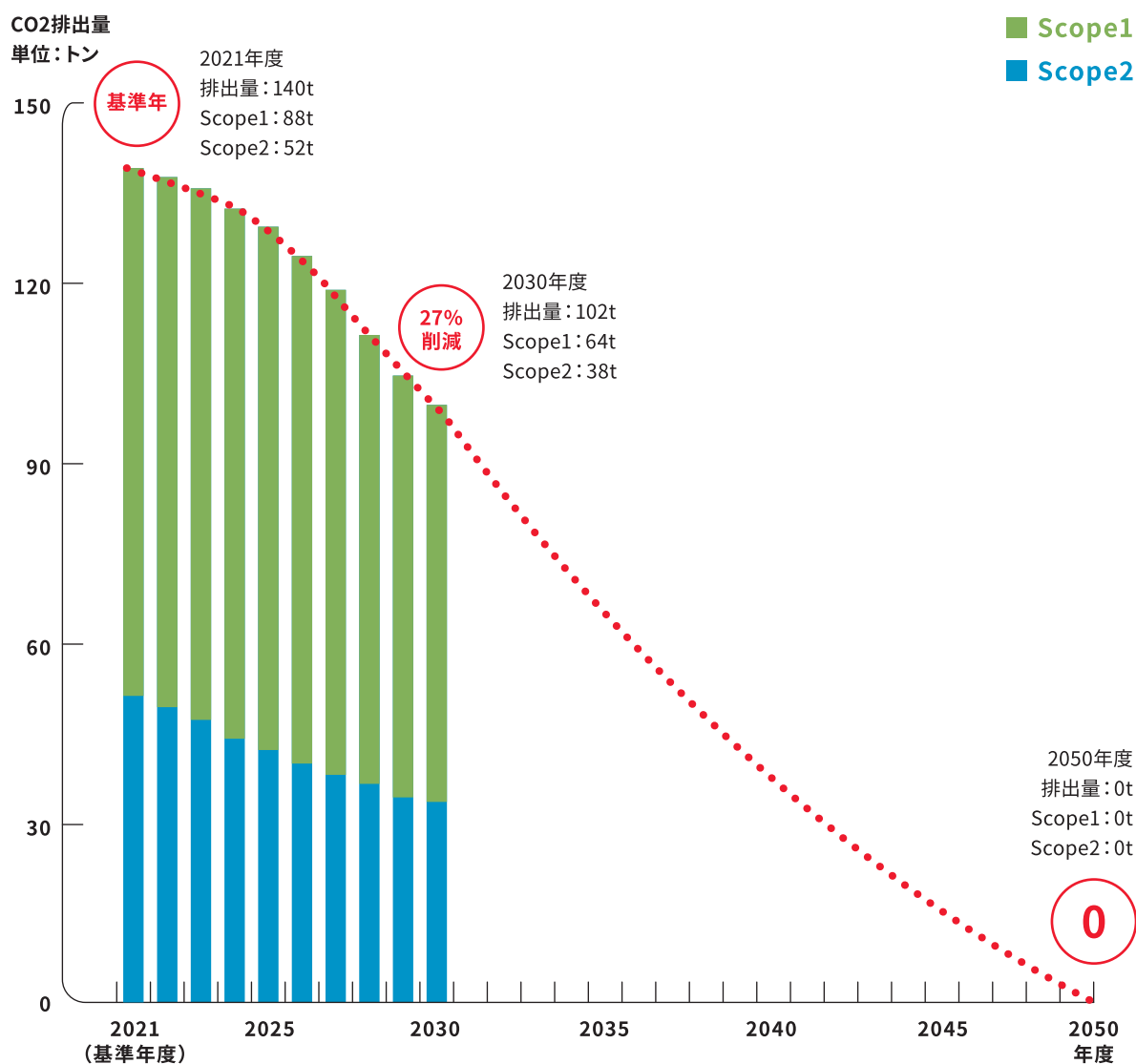
2050年カーボンニュートラル達成を念頭に、当社はまずScope1およびScope2（※）に関する2030年までの排出削減目標を策定いたしました。（基準年度：2021年度）

温室効果ガスの排出を2030年度はScope1・2で27%削減し、2050年度におけるScope1・2の排出量ゼロを目指します。

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

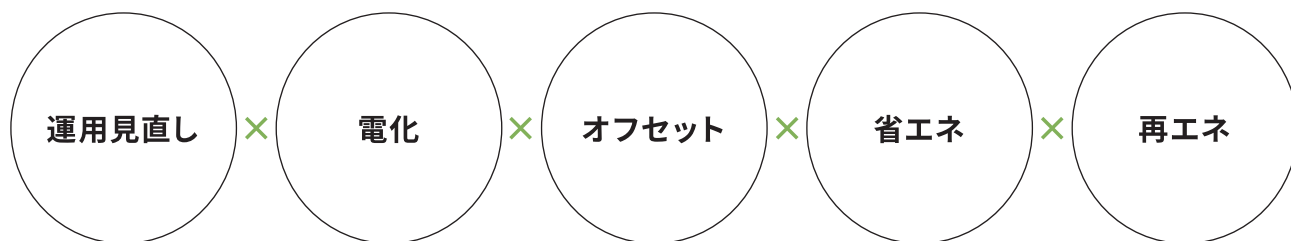
※Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

CO2排出量削減イメージ



削減方法とスケジュール

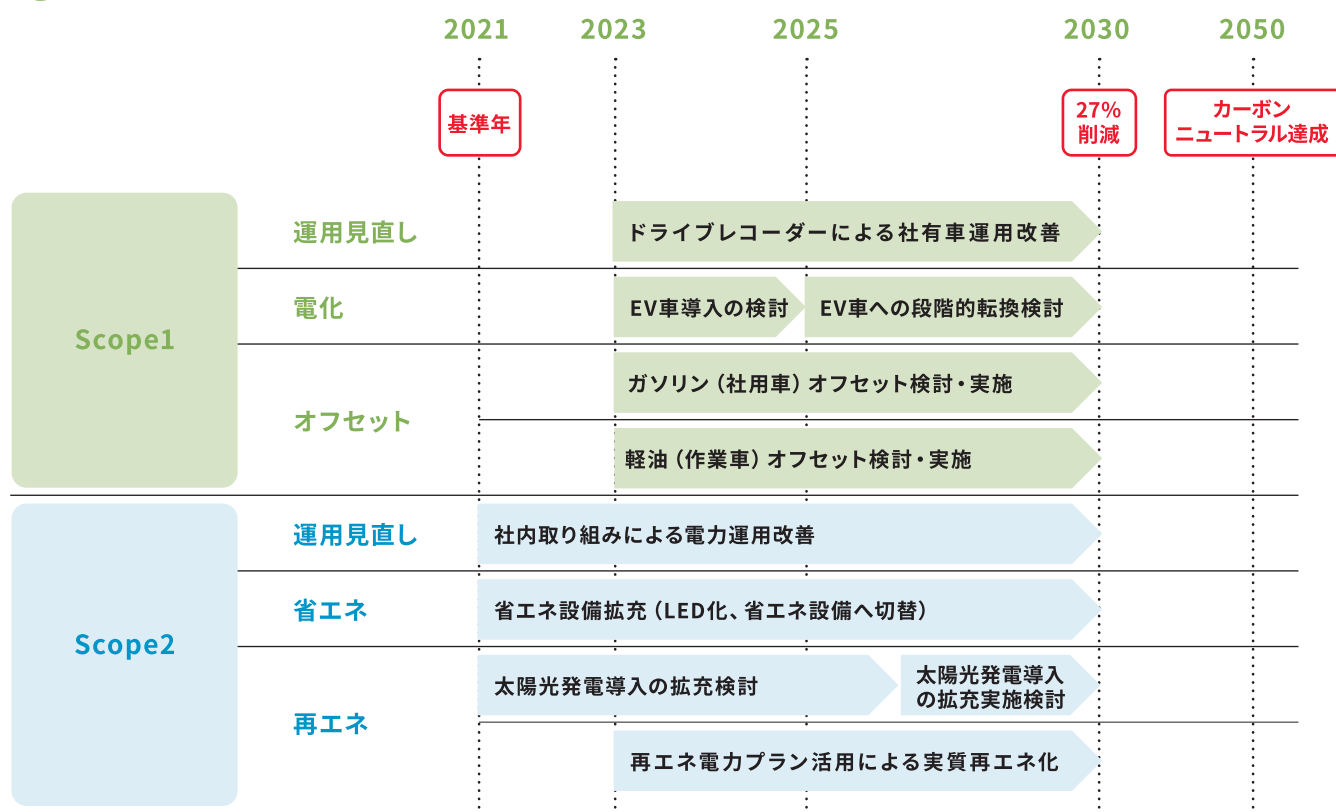
Scope1・Scope2排出削減目標に対し、当社は大きく5つのことに取り組みます。



2023年度より段階的に施策を実施し、2030年度までに27%の排出削減を目指します。

またそれと並行して地域やお客さまに向けた脱炭素支援を推進し、社会全体の気候変動に関する取り組みを加速させます。

1 自社の取り組み・施策



2 地域・お客さまの脱炭素支援

- 脱炭素製品・サービス(太陽光発電設備・蓄電設備・省エネ設備・再エネ電力プラン)の提案
- 地域・お客さまの意識醸成(対話・講演・フォーラムの開催や参加等)
- 脱炭素先行地域等の自治体との連携

ガバナンス体制

当社はトランジション戦略の運営にあたり、代表取締役を委員長とするGX推進委員会を新設いたします。GXを適切に推進する監督体制のもと、自社の具体的な取り組みを公表し、ステークホルダーのみなさまの賛同をいただきながら、ともにカーボンニュートラル達成を目指してまいります。

